

# 版互るまいる

謹  
新年  
賀  
員



<連絡先> 【日野病院組合\*在宅介護支援事業所】

☆訪問看護ステーション  
0859-72-2706

☆居宅介護支援事業所  
0859-72-2723

♪新年あけまして  
おめでとーいぞいます♪

皆様には、ステイホームで  
幸多き新春をお迎えのことと  
お喜び申し上げます。

今年は、ニューノーマルな  
生活様式、新型コロナウイルス  
感染症防止対策を行いながら  
の新年になりました。

東京オリンピックが今年に  
持ち越され、アマビエ(疫病  
退散)にあやかっつて、コロナ  
も吹き飛ばせるエールを送り  
たいものです。

今年も、在宅介護支援事業  
所では、ご利用の皆様の健康  
を守り、安心して生活してい  
ただけるよう努めてまいりま  
す。

本年もどうぞよろしくお願  
い致します。

寒い日が続きますが、どうぞ  
体調管理を心掛け、何か困った  
こと、心配なことなどござい  
ましたら、当事業所スタッフ  
までお気軽にご相談ください。

在宅介護支援事業所所長  
池田 清香

いつも、利用者様、ご家族様、地域の  
皆様に、温かい「笑顔」をいただき、  
とても嬉しく思っています！  
本年も、共にすまいる作りましょう♪

スタッフ一同



Dr 佐々木のつぶやき

## 冬の感染症対策！！

2020年は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄された1年でしたが、冬にはインフルエンザをはじめとする感染症がはやる時期でもあります。風邪症状をきたすいわゆる感冒（200種類以上のウイルスが原因）、インフルエンザ、下痢、嘔吐など消化器症状をきたすノロウイルスなどがあげられます。

2020年、日本と四季が反対になる南半球では、現在春から夏に向かっていきます。日本でいう夏の時期が冬になりますが、2020年南半球の冬では、例年のような冬季のインフルエンザ流行が認められなかったと世界保健機構（WHO）は報告しています。手指衛生や咳エチケットなどの対策や、人の移動が減りインフルエンザが伝播しなかったことなどがインフルエンザの流行が認められなかった原因の一因と考えられます。

私たちは、これからCOVID-19と共存していかなければならないことが、最近の流行状況からも明らかです。したがって、各種感染症が流行する冬季は、発熱、咳、下痢、嘔吐などの症状をきたす患者さんが増えることが予想されます。どのようなことを心がけるのが必要でしょうか？

3つの密（密閉、密集、密接）を避けることは、COVID-19を含めた様々な感染症予防に有効です。特に高齢者の多いこの地域では、家庭での感染予防対策が大切だと思われます。手洗い、手指消毒、うがい、マスクの着用など身近なことから心がけて感染症を予防しましょう。一人ひとりの小さな心がけで、この大変な時期を乗り越えましょう。

## ～訪問看護、訪問リハビリ同行を体験して～

私は以前より、患者様の在宅生活や訪問看護についてとても興味がありました。訪問看護で働くことは、正直不安も大きかったですが、その反面とても嬉しく感じました。入院中の行動制限など、制限をしなければならない病院という場では、なかなか患者様の生活を想像し難いのが現状でした。しかし、自宅では様々なリスクを抱えながらも、住み慣れた場所で家族に支えられながら、または独りでその人らしい生活を送る姿を目の前で感じることができました。病院では、聞き取りしかできない事も多く、実際に見ていないため評価が難しく感じていましたが、訪問では、利用者様や家族にじっくりと向き合える時間があるため少しの変化に気づくことが出来ると感じました。また、実際の訪問看護となると1人での観察力・判断力が必要であると改めて感じましたし、利用者様本人ともそうですが、家族と信頼関係を築く大切さも改めて学びました。短い期間でしたが、とても貴重な機会をいただき、学んだことを病棟での退院支援に活かしていきたいと思えます。

2階病棟看護師 河上 亜純

